



幸せの鐘の音を東北へ



「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」。

ベルマーク運動は、そんな願いをこめて1960年に始まりました。PTAなどのボランティアで生み出された資金（ベルマーク預金）で学校の設備や教材をそろえ、さらに国の内外でハンディを背負いながら学んでいる子どもたちに援助の手を差し伸べます。マーク集めから始まるだけでも気軽に参加できるボランティアです(ベルマーク教育助成財団HPより)。

小林猛久ゼミナール活動

このたび、ベルマーク財団が3月11日に発生した東関東大震災を受け「緊急友愛援助」という活動始めたことを知り、私たちも被災された方々の復興支援ができればと思いベルマーク活動を始めました。

本年度の目標を10万点として、学内・学外へ向けてベルマーク集めの呼びかけをし、集まったベルマークを集計してベルマーク財団に寄付する事を目的として活動しています。この寄付活動によって集められたベルマーク預金を利用して、震災で被害を受けた学校などが、必要な学用品を備えることができます。

お願い

お手元にあるベルマークを和光大学へお送り頂ければ幸いです。お送り頂いたベルマークは私たちがまとめて集計・計算して、財団へ寄贈いたします。なお、お送り頂く際は、集計の都合上未分類のままでお願いいたします。

問い合わせ

〒195-8585 東京都町田市金井町2160番地小林猛久研究室

電話 044-989-7777 (内線5616)

和光大学経済経営学部
小林猛久ゼミナール





和光大学経済経営学部

ベルマーク活動に関するお願い

2011年6月9日

和光大学ベルマーク活動について(お願い)

和光大学経営メディア学科2年
ベルマーク委員会広報部長 平栗 僚子

「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい。」
ベルマーク運動は、そんな願いをこめて1960年に始まりました。PTAなどのボランティアで生み出された資金(ベルマーク預金)で学校の設備や教材をそろえ、さらに国の内外でハンディを背負いながら学んでいる子どもたちに援助の手を差し伸べます。マーク集めから始まるだけでも気軽に参加できるボランティアです(ベルマーク教育助成財団HPより)。

このたび、ベルマーク財団が3月11日に発生した東日本大震災を受け「緊急友愛援助」という活動を始めたことを知り、和光大学・小林猛久ゼミナールでも被災された方々の生活や復興の一助となるべくささやかな支援をさせていただきたいという思いからベルマーク活動を開始いたしました。

私たちは、本年度のベルマーク収集目標を10万点(2012.03.31まで)として、学内・学外へ向けてベルマーク集めの呼びかけをし、集まったベルマークを集計してベルマーク財団に寄付する事を目的として活動しております。この寄付活動により集まったベルマーク預金を利用して、震災で被害を受けた学校などが、必要な学用品を備えることができます。

また、現在ベルマーク財団には「緊急友愛援助」を知った全国のベルマーク運動に未加盟の団体や個人から未集計のベルマークが集まっているそうです。しかし、財団には、集まったベルマークを集計して預金化するための人手がなく、せっかくの好意が形にできなくて困っていることを知り、私たちは、財団に集まった未集計ベルマークを仕分け・計算するという支援も開始いたしました。

私たちは、この活動が息長く続けることができる震災復興支援活動であると考えています。そして、1人のベルマーク収集、募金活動で支援できることは少ないかもしれませんが、このベルマーク運動が広がって、多くの方々の協力をいただくことができれば、被災者の方々への大きな支援へと繋がると考えています。

つきましては、まずこの活動を皆様にご理解いただく広報をさせていただくとともに、日常生活の中でのベルマーク収集とご寄贈をお願いしたいと存じます。

具体的な収集やご寄贈の方法については、別紙資料をご参照下さい。

和光大学ベルマーク運営委員会

和光大学経済経営学部准教授 小林 猛久



運営委員長：小林 優希
広報部長：平栗 僚子
総務部長：佐々木 拓未
活動委員：新倉 功太・平砂 直之・吉岡 千都・久保寺 優・伊東 彩・井上 凜也
廣川 健太郎・星野 直之・山岸 弥生・工藤 拓磨・小堀 藍